

事業者向け 児童発達支援自己評価表

公表:2026年 4月 4日

永山こども発達支援センターぼの

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員に対して、活動内容と発達段階の両立を図れる環境設定を行っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			お子さまが安全に過ごせるよう、基準に基づいた人員配置を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差解消や動線の工夫を行い、安心して利用できる環境整備に努めています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			年間・月間・日案に基づき、職員全体で目標共有と振り返りを行い、改善につなげています。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様への評価表の内容を真摯に受け止め、支援改善に反映しています。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価結果はホームページ等で公表し、透明性の確保に努めています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部評価や助言を踏まえ、客観的視点を取り入れた改善を行っています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期研修(毎週月曜日)および必要に応じた随時研修を実施し、専門性の向上を図っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			アセスメントシートと日々の観察をもとに、個別支援計画へ反映しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			お子さまの特性に応じた標準化ツールを活用し、客観的な把握に努めています。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			発達支援・家族支援・地域支援の視点から、個々に応じた支援内容を設定しています。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			個別支援計画に基づき、一貫した支援の提供を行っています。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当者だけでなく、職員全体で活動内容の立案・共有を行っています。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		繰り返しの経験も大切にしながら、お子さまの興味に応じた活動の変化を取り入れています。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			午前・午後の活動構成を工夫し、個別と集団のバランスを意識した支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			前日に加え、支援前に打ち合わせを行い、役割や配慮点を共有しています。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援後は振り返りを行い、気づきや改善点を職員間で共有しています。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録を正確に残し、支援の質向上につなげています。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングに加え、必要に応じて柔軟に見直しを行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			相談支援専門員と情報共有を行い、支援の方向性を一致させています。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			親子応援課・子育て支援機関と連携しながら支援を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	—	
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	—	
	㉔					

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保育園・幼稚園との連携支援を保育所等訪問支援を通じて移行支援を行っています。
	25	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			教育相談や引継ぎも含め、学校との情報共有や就学に向けた支援を行っています
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			他機関と連携し、学びを深めることを大切にしています。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	必要に応じて園等との交流の機会を検討していますが、各園の園生活のや感染症の流行等も含めて、実施することが難しい状況です。
	28	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			関係会議等へ参加し、地域との連携や情報共有に努めています。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お子さまの状況は面談や映像にて確認して頂きながら、その上で次の発達段階へ上げる為には何が必要かを保護者様と共通理解を図っています。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○		ニーズに応じてお子さまへの対応の仕方を一緒に考えたり、ペアトレを行っています。
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や面談時に、規程や利用者負担等について丁寧に説明しています。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			個別支援計画を示しながら支援内容を説明し、保護者様の同意を得て支援を行っています。
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様の困り感や解決方法を具体的に提示し、助言フォローをさせて頂いています。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			感染症の流行により、見合わせていましたが、今後は保護者様向け研修会と合同で開催できるよう検討します。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者様からの相談内容に合わせて、対応職員を配置し、迅速に改善案を具体的に提示しています。
	36	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動内容や連絡事項について、アプリや配布物等を通して定期的に発信しています。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			PCファイルはID・パスワードを入力することで管理しています。またSECURITY ACTION(二つ星)を宣言(情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度)を実施しております。
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			状況に応じた伝え方や視覚的支援を用い、丁寧な意思疎通に努めています。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域とのつながりを意識し、開かれた事業運営に努めています。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			避難訓練は(地震、火災、水害、ミサイル、不審者)を想定し、実施してます。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			非常災害に備え、避難等の訓練を定期的を実施しています。
	42	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			契約時に、予防接種の状況をシートに記入欄を設けており、その他の疾患等についても確認を行っています。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食物アレルギーに関しては検査結果を頂き、給食提供時に代替食にて対応しています。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例を記載し、センター内にて共有し、再発防止に努めています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に1回程度、虐待防止に関わる社内研修を行っています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		身体拘束が必要となる場合には、事前説明と同意、計画への記載を行う体制を整えています